

2024年の米国好配当株は上昇基調で推移

米国好配当リバランスオープン（資産成長型）／（年4回決算型）
追加型投信/海外/株式

- ▶ 本レポートでは、当ファンドが投資しているCollis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund(以下、投資対象ファンド)、およびクロッキー米国高配当株指数* (以下、当指数)の設定来の状況について、ご説明致します。

当ファンドの運用状況（2024年4月18日時点）

設定来の推移

設定来の当指数(米ドル建て)と米ドル/円の動きを見ると、当指数(米ドル建て)は米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが終了し、利下げに転換するとの見方が広がるに連れ、堅調な推移となりました。

一方、米ドル/円については、2023年末にかけてドル安円高が進行しましたが、2024年に入ってから、日銀が3月にマイナス金利を解除した一方、米国における早期利下げ期待が後退したことなどから、ドル高円安が進行しました。(図表1)

当指数(米ドル建て)の上昇、およびドル高円安が基準価額へプラスに寄与し、足元の当ファンドの基準価額は11,000円台半ばまで上昇しています。

投資対象ファンドへの個別銘柄の影響

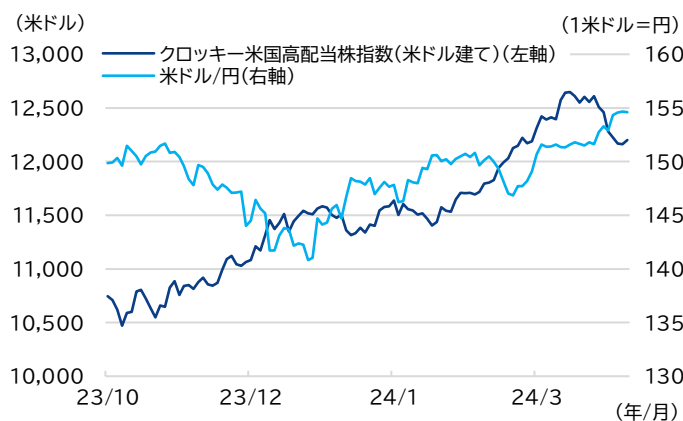
イスラエルとイランの対立など、中東地域の地政学リスクの高まりを背景に原油価格が上昇したことを受け、エネルギーセクターのフィリップス66(石油精製会社)がプラスに寄与したほか、資本財・サービスセクターのパッカー(トラックメーカー)や、カミンズ(ディーゼルエンジンメーカー)がプラスに寄与しました。

一方、生活必需品セクターのアーチャー・ダニエルズ・ミッドランド(小麦などを扱う穀物商社)や、ヘルスケアセクターのギリアド・サイエンシズ(バイオ医薬品メーカー)などはマイナスに影響しました。(図表2)

*「クロッキー米国高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき米国を代表する企業の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。

図表1 当指数(米ドル建て)と米ドル/円の推移

(期間 2023年10月24日～2024年4月18日、日次、配当込み)



(出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表2 投資対象ファンドへの影響が大きかった銘柄

(期間 2023年10月25日～2024年4月18日)

順位	プラス寄与銘柄	産業グループ名
1	フィリップス66	エネルギー
2	パッカー	資本財・サービス
3	カミンズ	資本財・サービス
4	クローガー	生活必需品
5	タバストリー	一般消費財サービス

順位	マイナス影響銘柄	産業グループ名
1	アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	生活必需品
2	ギリアド・サイエンシズ	ヘルスケア
3	ファイザー	ヘルスケア
4	プリストル マイヤーズ スクイブ	ヘルスケア
5	シスコシステムズ	情報技術

※セクターはGICS(世界産業分類基準)ベース

(出所) BarraOneデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



当指数の構成銘柄について (2024年4月18日時点)

直近の当指数の構成銘柄

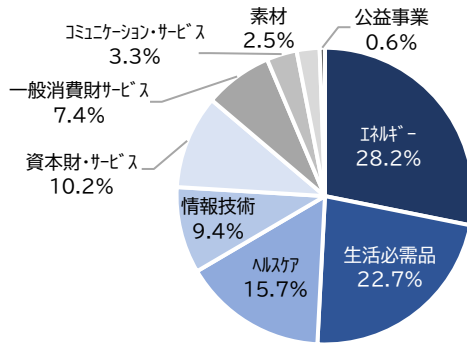
当指数の4月18日時点でのセクター別の構成比率は、エネルギー(28.2%)と生活必需品(22.7%)で約50%、ヘルスケア(15.7%)、情報技術(9.4%)を加えると、上位4セクターで、全体の約4分の3を占めており、設定当初から大きな変更はありません。(図表3)。

構成銘柄の配当利回りの内訳を見ますと、2.0%~4.0%の間に31銘柄と多く分布しています(図表4)。また、構成銘柄の実績平均配当利回り(加重平均ベース、4月18日時点)は3.7%となっています。(S&P500種指数の配当利回り(実績ベース)は1.4%)

なお、構成銘柄の配当利回り1位はアルトリア・グループ(たばこ製品の製造販売)です。続いて、エネルギーセクターのキンダー・モルガン(パイプライン輸送・エネルギー貯蔵会社)や、フィリップ・モリス・インターナショナル(大手たばこメーカー)、ライオンデルバセル・インダストリーズ(プラスチック製品などの製造会社)のほか、上位には、ヘルスケアやエネルギーセクターの銘柄が名を連ねています(図表5)。

図表3 当指数のセクター別構成比率

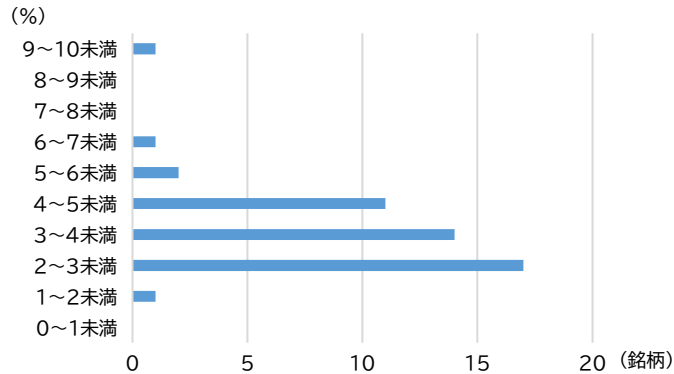
(2024年4月18日時点)



※構成比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

図表4 当指数構成銘柄の配当利回り(実績ベース)別銘柄数内訳

(2024年4月18日時点)



図表5 当指数構成銘柄の配当利回り(実績ベース)上位10銘柄

(2024年4月18日時点)

順位	企業名	セクター	利回り (%)
1	アルトリア・グループ	生活必需品	9.40%
2	キンダー・モルガン	エネルギー	6.21%
3	フィリップ・モリス・インターナショナル	生活必需品	5.67%
4	ライオンデルバセル・インダストリーズ	素材	5.03%
5	ワンオーケー	エネルギー	4.95%
6	ベスト・バイ	一般消費財サービス	4.87%
7	プリストル マイヤーズ スクイブ	ヘルスケア	4.85%
8	ウィリアムズ・カンパニーズ	エネルギー	4.84%
9	デボン・エナジー	エネルギー	4.71%
10	ギリアド・サイエンシズ	ヘルスケア	4.56%

※セクターはGICS(世界産業分類基準)ベース

(図表3~5の出所)ドイツ銀行グループ、Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



今後の米国高配当株の見通し

米国高配当株に追い風が吹く見通し

2020年以降の米国の株式市場を見ると、半導体需要の増加を追い風に、業績が急拡大したエヌビディアを始めとして、マグニフィセント7*1と呼ばれる一部の大型株が上昇を牽引してきました。こうした環境下、クロッキー米国高配当株指数(米ドル建て)など高配当関連株の指数は、S&P500種指数に劣後して推移してきました(図表6)。この背景としては、①予想以上の米国景気の好調持続、②配当利回りと長期金利の格差縮小(図表7)、③低調な業績動向などが挙げられます。

ただし、足元では半導体関連株が売り込まれるなど、これまでとはやや異なった相場展開となっています。今後はマグニフィセント7の銘柄と他銘柄との業績モメンタムの格差が徐々に縮小していくことが見込まれるほか、米国の利下げの動きをきっかけに、今後の物色対象は大型株以外にも広がっていくことが予想されます。

また、高配当関連株のパフォーマンスがS&P500種指数に劣後した背景の①については、米国景気は緩やかに減速に向かうとみられること、②については利下げ局面が近づくと、米国の長期金利は低下することが見込まれること、③については、米国高配当株の増益率の改善が見込まれるなど、これまでの逆風は追い風へと変わっていく見通しです(図表8)。

物色対象がマグニフィセント7に代表される超大型企業以外に広がっていく過程で、米国高配当株も注目を集めていくものと考えています。

図表6 2020年以降の米国高配当株指数の推移

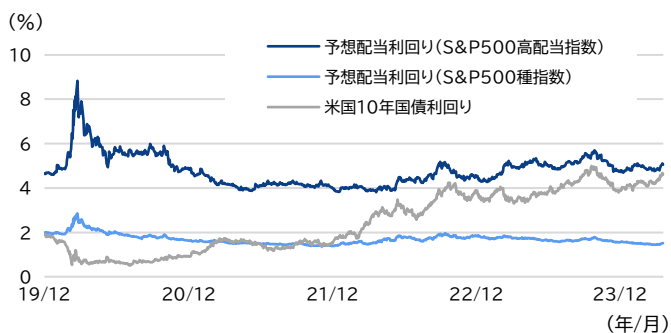
(期間 2019年12月30日～2024年4月18日、日次、配当込み)



※2019年12月30日を100として指数化

図表7 各指数の予想配当利回りと長期金利の推移

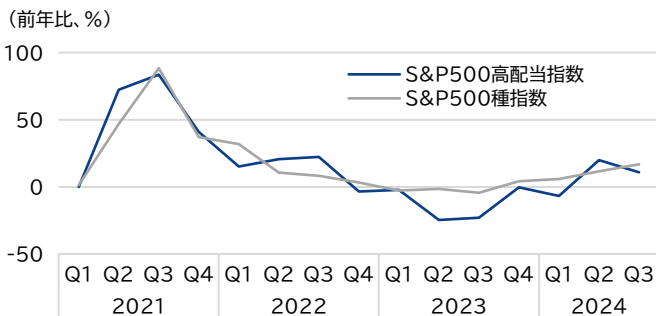
(期間 2019年12月30日～2024年4月18日、日次)



※予想配当利回りは12カ月先予想ベース

図表8 各指数構成銘柄の増益率の推移

(期間 2021年第1四半期～2024年第3四半期、四半期、予想を含む)



※2024年第2四半期以降は予想

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

*1 マグニフィセント7:

アップル、アマゾン、アルファベット、メタ・ブラットフォームズ、マイクロソフト、エヌビディア、テスラから成る大型テクノロジー関連株7銘柄のこと。

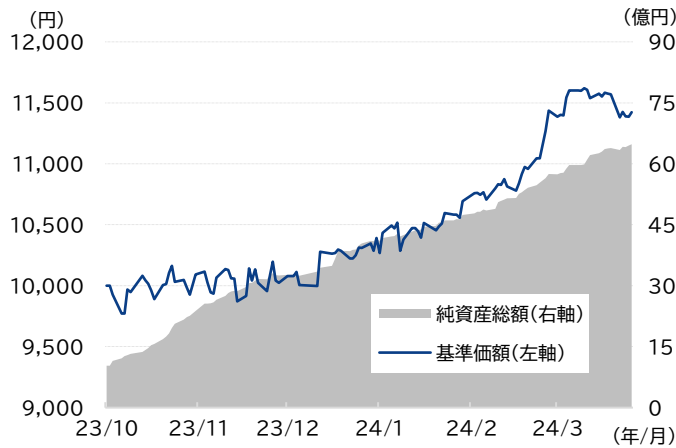
(図表6～8の出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成



運用状況 (作成基準日: 2024年4月19日)

資産成長型

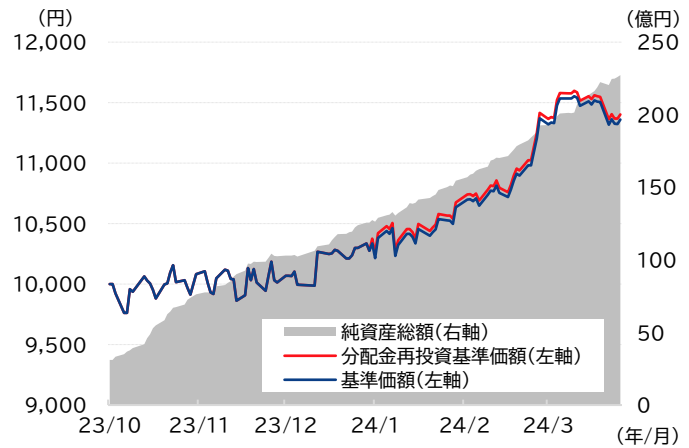
(2023年10月25日～2024年4月19日、日次)



ファンドデータ	
基準価額	11,423円
残存元本	5,675百万円
純資産総額	6,482百万円
ポートフォリオ構成比率	
Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	98.8%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.1%
短期金融商品・その他	1.1%

年4回決算型

(2023年10月25日～2024年4月19日、日次)



ファンドデータ	
基準価額	11,360円
残存元本	20,020百万円
純資産総額	22,743百万円
ポートフォリオ構成比率	
Collis Trust - CROCI US Dividend Equity Fund	98.3%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.1%
短期金融商品・その他	1.6%
分配金	
2024/1/24	40円

※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

留意事項



【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、投資信託証券を通じて値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カウンターパーティ・リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料 : ありません。
 - 信託財産留保額: 1口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.25%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - : 純資産総額×年率1.287%(税抜1.17%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - : 純資産総額×年率1.977%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用、監査報酬等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
*野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

*野畑証券株式会社は、「年4回決算型」のみの取扱いとなります。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)